



三代目市川猿之助（二代目猿翁）さんから京都造形芸術大学に寄贈いただいた貴重な歌舞伎関係資料をもとに、三代目猿之助の軌跡をたどるフォーラムの3回目。今回は「古典の新演出」をキーワードに、『奥州安達原』を取り上げ、三代目猿之助が渾身の力を注ぎ続けた〈伝承〉と〈創造〉について考えます。

「猿翁アーカイブ」にみる三代目市川猿之助の世界」 第三回フォーラム

おうしゅう あだちがはら

『奥州安達原』にみる古典の新演出



2018年
9月23日(日)

14時開演（13時30分開場）
無料・全席指定・要申込

第一部 『奥州安達原』ダイジェスト映像上映と解説 ゲスト：石川耕士（脚本家）

第二部 三代目猿之助の、古典への取組 ゲスト：水落潔（演劇評論家）

【会場】 京都芸術劇場 春秋座（京都造形芸術大学内）

【申込方法】 往復はがきにてお申込み下さい ※申込多数の場合は抽選とさせていただきます（詳しくは裏面へ）

主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

平成28年5月、三代目市川猿之助(二代目猿翁)氏から、京都造形芸術大学に歌舞伎関係資料を寄贈いただきました。映像、書籍、公演パンフレット、台本、舞台写真など、その数は約2万点にもなります。これら貴重な資料を後世に残すため、京都造形芸術大学では「猿翁アーカイブプロジェクト」として寄贈資料デジタル化をすすめており、これまで寄贈映像全2489本のうち2143本のデジタル化処理が完了しました。

デジタル化のため2016年・2017年度フォーラム等にて寄附を募った結果、合計3,300,196円のご寄附が集まりました。心より御礼申し上げます。現在、デジタル化が必要な寄贈映像残り346本うち、外部の専門業者にデジタル化を依頼する資料が301本あり、その費用として約600万円が必要となります。これまでお寄せいただいた寄附金をこのデジタル化に使わせていただきますが、不足金額を補うべく、以下のクラウドファンディングサイト(5/31締め切り)で、さらなる寄附を募っております。ぜひ皆様のご協力をお願い申し上げます。

<https://readyfor.jp/projects/kyoto-art1>



三代目市川猿之助 (二代目市川猿翁)

1939年(昭和14年)生まれ。つねに「時代とともに生きる歌舞伎」をめざし、伝統の継承と創造に全身全霊をかけて走り続けている。「猿翁十種」をはじめとする家の芸の継承はもとより、『義経千本桜』『加賀見山再岩藤』などの古典歌舞伎の再創造、『菊宴月白浪』『競伊勢物語』などの古劇の復活、さらには『ヤマトタケル』や『新・三国志』シリーズなどのスーパー歌舞伎の創造まで、パワフルな活動はみごとな芸術的完成を見せる。現代歌舞伎に多彩で豊穡な成果をもたらしてきた演劇活動の中から「三代猿之助四十八撰」を制定した。歌舞伎にかけける熱い思いと革新的な発想は、三代目市川猿之助が育てた弟子たちにも確実に受け継がれている。平成24年新橋演舞場において、祖父が名乗った猿翁の名を二代目として襲名し、甥の市川亀治郎に猿之助の名を譲った。

京都造形芸術大学では、平成5年に芸術学部教授、平成12年～17年副学長に就任。集中講義では学生に歌舞伎の実技実演指導も行なった。同大の春秋座には徳山詳直前理事長とともに劇場の構想・設計から関わる。初代芸術監督として、柿落し公演の『日本振袖始』をはじめ、数々の舞台を企画し出演した。

2018年9月23日[日] 14時開演(13時30分開場)

【会場】 京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内) 無料・全席指定

第一部 『奥州安達原』ダイジェスト映像上映と解説…ゲスト：石川耕士(脚本家)

第二部 三代目猿之助の、古典への取組…ゲスト：水落潔(演劇評論家)

申込方法

下記をご参照いただき必要事項を全てご記入の上、往復はがきにてお申し込みください。

【往信表面】〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
京都造形芸術大学舞台芸術研究センター [三代目猿之助の世界] 宛

【往信裏面】①代表者ご氏名(ふりがな)
②ご住所(郵便番号含む)
③お電話番号(日中の連絡が可能なもの)
④参加人数(2名まで)

※①～④全て明記してください。記載のないものは無効となります。
※車椅子をご利用のお客様、足の不自由なお客様はその旨お書きください。

【返信表面】お客様のご住所、お名前をご記入ください

【返信裏面】白紙

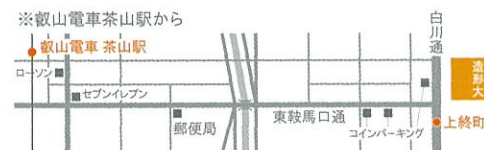
[申込×切]

2018年7月31日(火) 必着

指定席 定員 500名 ※申込多数の場合は抽選とさせていただきます

[結果通知]

8月8日までに当落結果をご返信いたします。当選された方へのはがきには座席番号を明記いたします。(お座席の場所はお選びいただけません。フォーラム当日は、入場時に返信はがきをご提示いただきますので、必ずご持参ください。返信はがきをお持ちでない場合、入場をお断りする事がございます。予めご了承くださいませ。



- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5号系統「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204号系統銀閣寺行に乗車(約15分)、
「上終町・京都造形芸大前」下車
- 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。
※所要時間はあくまで目安です。交通事情により
大きく変動します。

企画：田口章子(京都造形芸術大学教授)

映像担当：倉田修次、京都造形芸術大学コンテンツ配信担当

協力：松竹株式会社、公益社団法人日本俳優協会、株式会社キノシ・オフィス

主催：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

〈お問い合わせ〉

京都芸術劇場チケットセンター

TEL.075-791-8240(平日10時～17時)